



YOU ARE
THE KEY

あなたが
鍵です



会長 佐藤順治 幹事 秋野 忠 クラブ専任 吉野 勲 職業専任 板垣広志 社会専任 小池繁治 国際専任 高橋良士 青少年専任 丹下誠四郎

出席報告：会員79 (73)名 出席58名 出席率79.45% 前回出席率85.14% 修正出席69名 確定出席率93.24%

会員スピーチ

コンピューター（電子計算機）の世界

碓氷節男君

僕は昭和43年から現在の職業であるコンピューターのソフトウェア開発、いわゆる、プログラマー S E (システムエンジニア) をやってきました。その間足掛け18年間コンピューターも随分、進歩、発展してきました。

そんなことを振り返りながら今日は「コンピューター（電子計算機）の世界」と題してお話をしてみたいと思っておりますが、先輩諸氏には私よりも今のOA（オフィスオートメーション）にはずっと詳しい方がおられると思われるので、もし、私の話の中で誤りが有りましたらご指摘していただき、勉強させていただけたら幸いです。

さて、我が国で最初にコンピューターについて考えられたのは、大正末期から昭和の初期とされています。それは産業革命の機織り機械にいかにかコンピューターをくみこむかということだったようです。しかしこれは考えただけで実用には至らずに終わってしまいました。それからしばらく時を置きました太平洋戦争も終わり数年間は日本の復興の時代となりましたが、それとともにコンピューターも本格的にその製造を考えられるようになり、第1号機が作

られたのは昭和20年後半のことだと言われます。

それではまずコンピューターの条件として最低の項目をあげますと、

1. 高速で計算が出来ること。
2. 判断能力を有すること。
3. 同じ作業を何度でも出来ること。
4. 記憶量が大であること。

まず1番の「高速で計算が出来ること」に対してご説明させていただきますと、1秒間に何回の計算が出来るかと言う単位で計算機の能力を計ることが出来ます。

1. ミリセカンド 1000/秒

第1号機は43ミリセカンドぐらい。

2. マイクロセカンド 100万/秒

一般のOA機器

3. ナノセカンド 10億/秒

汎用コンピューター

4. ピコセカンド 1兆/秒

現代大型コンピューター

ここでコンピューターの種類を上げてみますと、

1. マイコン（マイクロコンピューター）掃除機、

あなたが鍵です — 会員増強にご協力を!

庄内空港の建設を推進しましょう

洗濯機、テレビジョン、ビデオ、ストーブ。 2. ポケコン（ポケットコンピューター）数本のプログラムが記憶されており、その計算のみ可能。 3. パソコン（パーソナルコンピューター）簡単な事務計算、テレビゲーム。 4. オフコン（オフィスコンピューター）会計、売掛、買掛、管理、在庫管理、一般事務計算。 5. 汎用コンピューター…色々すべて、オンライン、ホストコンピューター。

世代別分類をもってコンピューターを分けますと、
 1. 第1世代コンピューター（真空管使用） 2. 第2世代コンピューター（トランジスター使用） 3. 第3世代コンピューター（トランジスター、ダイオード使用） 4. 第4世代コンピューター（IC使用） 5. 第5世代コンピューター（LSI、超LSI使用）

型別分類をもってコンピューターを分けますと、
 1. 超小型コンピューター（マイコン、ポケコン、パソコン） 2. 小型コンピューター（オフコン、汎用コンピューター） 3. 中型コンピューター（オフコン、汎用コンピューター） 4. 大型コンピューター（汎用コンピューター） 5. 超大型コンピューター（汎用コンピューター）

この型別分類はコンピューターの、買取り価格で分類されます。

第2の「判断力を有すること」ということは、

IF < > = AND 等の命令を使用することが出来ること。

第3の「同じ事を何度でも出来ること」は、

GO TO PERFORM 等の命令を使用することが出来ること。

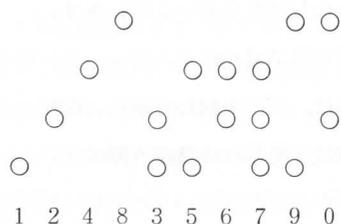
第2、第3のことについてはコンピューターに命令を与えることが出来るということでコンピューターの命令は汎用コンピューターで180から200ぐらいの命令があります。命令の種類は、 1. マシン言

語（機械語） 2. ベーシック言語（簡易言語でマイコン、パソコン等に使われる） 3. アセンブラ言語（簡易言語で汎用コンピューター等に使われる） 4. フォートラン言語（科学技術計算等に多く使われる） 5. コボル言語（一般の汎用コンピューターで最も多く使われる） & 各メーカーの簡易言語。

第4の「記憶量が大きであること」は、一般にいわれるCPU（記憶装置）が大きいことと外部記憶装置が大きいこと。外部記憶装置には次のようなものがあります。

1. フロッピーデスク
(128×26×73×2 = 485,888字)
2. 磁気テープ
(1600×1200フット = 1,920,000字)
(1600×2400フット = 3,840,000字)
(6250×1200フット = 7,500,000字)
(6250×2400フット = 15,000,000字)等
3. 磁気デスク (各種様々)
4. 光（レーザー）デスク (各種様々)

どのようなかたちで記憶されるかを説明しますと、ほとんどのコンピューターは10進法2進法という方式をとっています。それは、



これを発展させて色々な文字を作りだしている8ビット、16ビット、32ビットといったような段々高度なコンピューターが作り出され、近い将来は第6世代のコンピューターが作られ、感情を持っていて人間の誤りを指摘してくれるようになると言われて

います。どちらにせよ、それを作ったのは人間である以上

コンピューターに使われることのないよう、皆が時代に即応した勉強をして、自由にそれを使いこなしてゆきたいものだと思います。

最後になりましたが、私共でお役に立つ事がございましたらなんなりとお申しつけ頂き、お互いに勉強させていただけたらと思っております。本当にご静聴有難うございました。

会長報告

佐藤 順治 君

1. 第4回クラブ協議会開催

去る1月14日(火)16時より2時間に亘りクラブ協議会を開催致しました。今回は「前半の活動実績と後半の計画との調整」について各委員会より夫々発表していただき、種々意見の交換を行い、一応初期の目的は達せられたものと思いましたが、ただ、欠席した委員会がありまして、お互いに意見の交換が出来ず残念でした。

尚、次回、第5回のクラブ協議会は4月8日に予定されております。その節は今回欠席した委員会は勿論、全委員会のご出席を期待致します。

2. 1月19日(日)、酒田市のホテルリッチ酒田に於て酒田市立酒田中央高等学校インターアクト・クラブの認証状伝達式がありました。

当クラブよりは石黒パストガバナーを始めとしインターアクト委員会の中田委員長さん、委員の皆川さん、秋野幹事さんと私の5名が出席して参りました。分区内各クラブのロータリアンも多数出席されたようです。

11時30分の点鐘に始まり、インターアクト会員46名、厳粛な中にも和気藹々とした雰囲気、13時無事式典が終了されました。

3. 次回28日の例会は「新年たら汁会」で、午後5時30分点鐘で、場所はこの例会場でありますので

お間違いのない様にして下さい。

4. 会員の佐藤英明さんは1月28日付で仙台NTT東北総支社企画部長に転勤とのことです。
5. 匹田良平さん自宅療養の為、2月末日迄賜暇願いが出されております。
6. 手塚林治さんから昨日事務局に連絡があり、現在宮原病院に入院中であり、1月末迄賜暇願いたいとのこと。早速手続きをとりたいと思います。

幹事報告

秋野 忠君

- ロータリー財団委員会の代形で、今日はロータリー財団協力の日で、1人1\$以上でご寄付をお願いしました。その結果、11,536円のご協力を頂きました。
- 今日は他クラブの例会日等の変更の通知がなく、多くの委員会報告をして頂き、当クラブの近況がよく理解出来たようでした。
- 今年度の例会も余すところ20回を数えるしかありません。後半の各委員会活動、又事業活動にご協力の程宜敷くお願い致します。

委員会報告

親睦活動委員会

佐藤 昇君

1月28日の例会はたら汁会ですので、午後5時30分より点鐘です。

ロータリー情報委員会

斎藤 隆君

ファイヤー・サイド・ミーティングの御案内
日時 2月1日(土) 午後5時30分より
場所 中国飯店 登録料 2,000円

国際親睦委員会

塚原 初男君

- 台中港区へのカレンダー送付の協力依頼について

○訪台委員会よりの報告

(アンケート調査により)

今回ぜひ出席したい人	4名
都合がつけば出席したい人	8名
次回には出席したい人	22名
今回も次回も出席出来ない人	35名

会員増強委員会

庄司嘉男君

○国際ロータリーよりの通知

100万人目のロータリアンは
あなたのクラブにいるかもしれない
秒読みが始まりました……あと6,000人足らずです。「100万人目のロータリアン」を入会させる機会は世界のどのロータリー・クラブにもあります。会員数の増加傾向から考えると、1986年2月17日から23日までの1週間、ロータリーの創立81周年記念日の含まれる週に100万人目のロータリアンが入会すると思われまます。特定の人を指定するのはほぼ不可能ですので、その週に正式に入会したロータリアンは、すべてロータリーの「ワン・ミリオン・メンバー・クラブ」という選抜グループの一員となります。
本R.Iニュースに同封した書式に該当する新会員の氏名を記入し、1986年3月31日前に到着するよう返送して下さい。これで、あなたのクラブは「抽選箱」の中に含まれます。この抽選箱からカドマン会長が100万人目の会員の氏名を引き出します。この人と推薦者は、夫人同伴で、来る6月に米国ネバダ州ラスベガスで開かれる国際大会に招待され、祝賀会で来賓として遇されます。これはロータリー史における誇

り高き一瞬と言えましょう…あなたのクラブもぜひご参加下さい!

スマイル

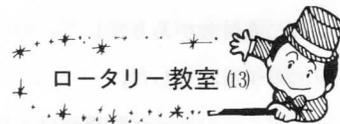
佐々木喆彦君 NHK山形放送局で対談に出演するので。

(1月30日午前7時52分より)

関原享司君 鶴岡市観光協会で2月9日開催の“雪の降る街”のイベントに協賛し、2月16日午後4時よりY.T.Sにて放映致しますので。

ビジター

鶴岡西R.C 佐藤 拡君・木村有為君
鈴木昭吾君



討論会は親睦を深め
ロータリー知識を広げる

ロータリアンがロータリー問題について討論すると、ロータリーのためになります。あなたのクラブはこのような討論を行っていますか? まだ行っていないなら、会員の自宅で小規模な肩のこらない集まりを持ち、グループ討論を行うよう努めて下さい。

1グループが10人以内という少人数であるためと気軽に雰囲気から、このような討論会は親睦を深め、また、奉仕の理想を実践するうえで役立ちます。

計画を立てる際には、R.I.日本支局に「論題をもった談話」(125-JA)を注文して下さい。この出版物には、ロータリーに関する様々のテーマについて討論する際、司会者が討論を指導、鼓舞するうえで役立つ10項目が掲載されています。価格は1部に付き270円です。